

# 令和元年度 事業報告

## 1. 事業概要

高齢化の進展と人手不足の現況下において、高齢者に多様な就業機会を提供するシルバー人材センターへの期待は高まっており、今後も高齢者人口の増加と現役世代人口の減少が見込まれる中、その傾向は一層強まることが予想される。

しかしながら、当センターにおいては企業の定年延長や継続雇用、さらには雇用情勢が大きく改善している影響等から会員数の減少傾向が続いている。

こうした状況が続けば、地域の期待に応えることができないだけでなく、センターの存在感が低下し、仕事の減少が更なる会員減少を招くことから、鳥取県シルバー人材センター連合会と連携して会員拡大に取り組んだほか、年度後半からは当センター単独で新規入会者紹介キャンペーンや普及啓発活動を積極的に展開した。これらの取り組みが奏功し、年度末の会員数は前年度末より4人多い173人となった。

事業実績では、当センターの受注の中心である請負事業の受注件数は、前年度より2.1%減の1,999件、契約金額は公共事業、個人・家庭は増加したが、一般企業等が大幅に減少したことにより、前年度より1.2%減の61,749千円となった。

一方、派遣事業は人手不足分野を中心にシルバーを活用したい企業は年々増加していることから順調に実績を伸ばし、受注件数は前年度より5.9%増の18件、契約金額は前年度より24.2%増の8,192千円となった。

元年度は、シルバー事業にも関係する消費税率の引き上げへの対応や令和2年4月1日から施行される改正労働者派遣法への対応を行った。

消費税対応では、10月に消費税率が8%から10%に引き上げられたことに伴い、配分金の改定を行った。消費税率引き上げ前には一部駆け込み需要が見られたが、改定後も大きな影響はなかった。

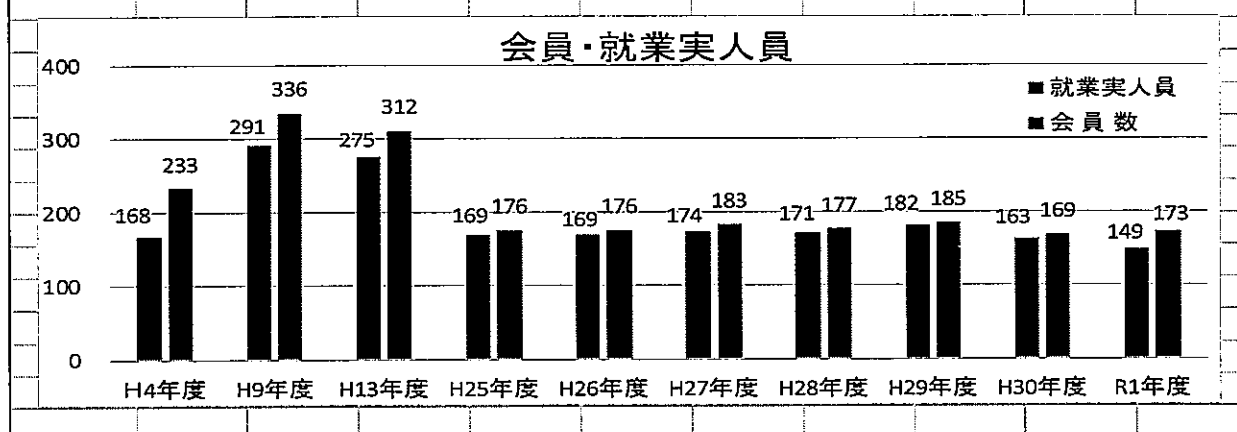
改正労働者派遣法対応では、同一労働同一賃金を目的とした改正労働者派遣法が4月1日から施行されることに伴い、1月から2月にかけて各派遣先事業所を訪問し、法改正の内容説明等を行い、引き続き、派遣会員の雇用の確保を要望した。

以下、令和元年度の事業実施状況を項目ごとに報告する。

## 2. 事業実施状況

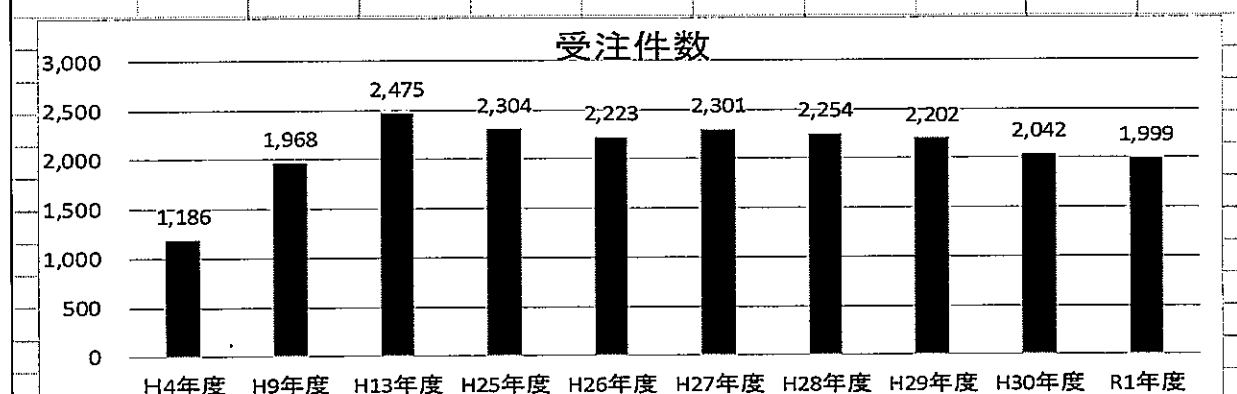
### (1) 事業実績の推移

	H4年度	H9年度	H13年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
会員数	233	336	312	176	176	183	177	185	169	173
就業実人員	168	291	275	169	169	174	171	182	163	149



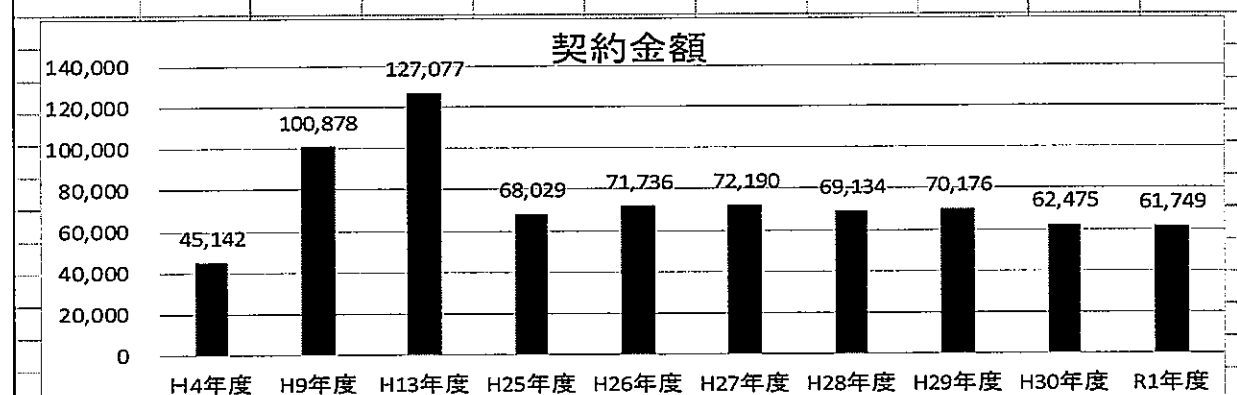
(単位: 件)

	H4年度	H9年度	H13年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
受注件数	1,186	1,968	2,475	2,304	2,223	2,301	2,254	2,202	2,042	1,999



(単位: 千円)

	H4年度	H9年度	H13年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
契約金額	45,142	100,878	127,077	68,029	71,736	72,190	69,134	70,176	62,475	61,749



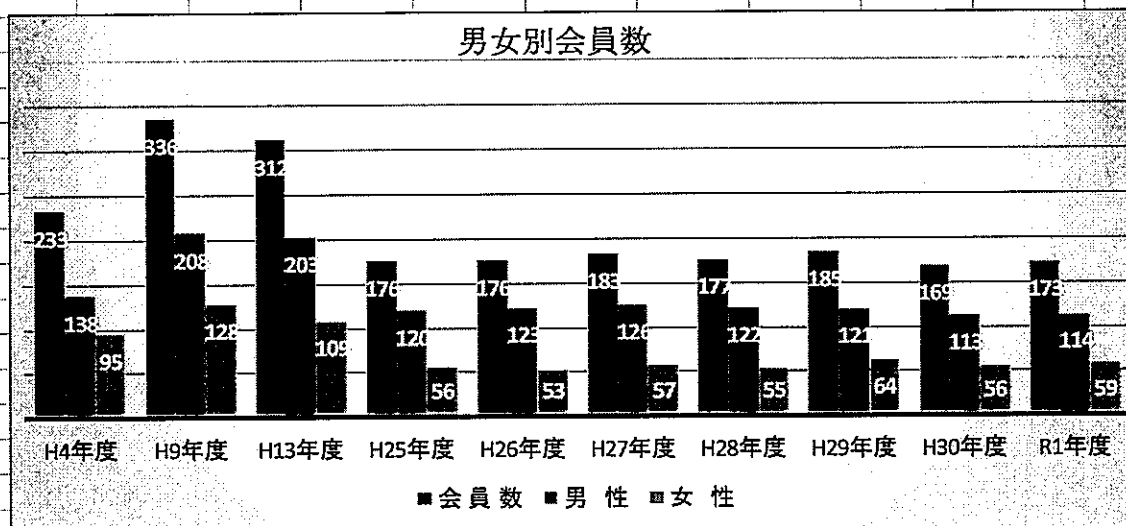
## (2) 会員の拡大

地域の期待に応えるために会員の拡大を当センターの最重要課題と位置づけ、鳥取県シルバー人材センター連合会と連携して会員拡大に取り組んだ。また、当センターでも新規入会者促進キャンペーンを実施したほか、機会を捉えてシルバー事業のPRや会員拡大に積極的に取り組んだ結果、令和元年度末の会員数は173人となり、基本目標値（会員数169人）を達成することができた。

### 【主な取り組み】

- 草刈・技能講習（連合会と共同事業）
- 剪定・技能講習（連合会と共同事業）
- 調理補助スタッフ講習（連合会と共同事業）
- テレビCM（川柳）放映（連合会と共同事業）
- 新規入会者促進キャンペーンの実施
- 浜の里まつりでリーフレット等の配布
- 網戸・障子・襖張り講習会の実施
- 市報に会員募集のチラシを折り込み

<会員数の推移>										(単位:人)
	H4年度	H9年度	H13年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
会員数	233	336	312	176	176	183	177	185	169	173
男性	138	208	203	120	123	126	122	121	113	114
女性	95	128	109	56	53	57	55	64	56	59



### (3) 就業開拓の促進

会員の就業機会を確保するため、鳥取県シルバー人材センター連合会と連携して新聞折込みや商工会議所ニュースにシルバー人材センターを紹介する記事を掲載した。また、官公庁や事業所を訪問し、就業機会の継続・拡大を要望した。

#### 【主な取り組み】

- スーパーマーケットのカート整理
- ゴミ収集補助
- 事業所の清掃業務 など

### (4) 安全就業の徹底

安全・適正就業指針に基づき、安全・適正就業に努めたが、今年度も傷害事故2件、熱中症1件、賠償事故1件、労災事故1件発生した。

#### 【主な取り組み】

- 理事長、安全・適正就業推進委員長、事務局職員のほか、連合会の安全・適正就業指導員による安全パトロール実施（2回）
- 新規に熱中症見舞金制度に加入
- 安全就業を徹底するため平成5年以来となる安全就業基準を改定
- 今年1月から毎月、配分金明細書に安全標語を掲載
- 班会議において、安全・適正就業委員長から安全就業について説明

#### < 傷害事故の発生状況 >

業種	事故発生日	状況	保険金給付額
除草	R1. 7.20	除草作業中に蜂に刺された。	2,000円
剪定	R1. 9. 2	剪定作業中に蜂に刺された。	2,000円

#### < 熱中症 >

業種	事故発生日	状況	見舞金
刈払い	R1. 7.24	刈払い作業中体調が悪くなり、午後病院で点滴を受けた。	5,000円

<賠償事故の発生状況>

業種	事故発生日	状況	保険金給付額
刈払い	R1.10.11	飛石で車の窓ガラスを破損させた。	90,617円

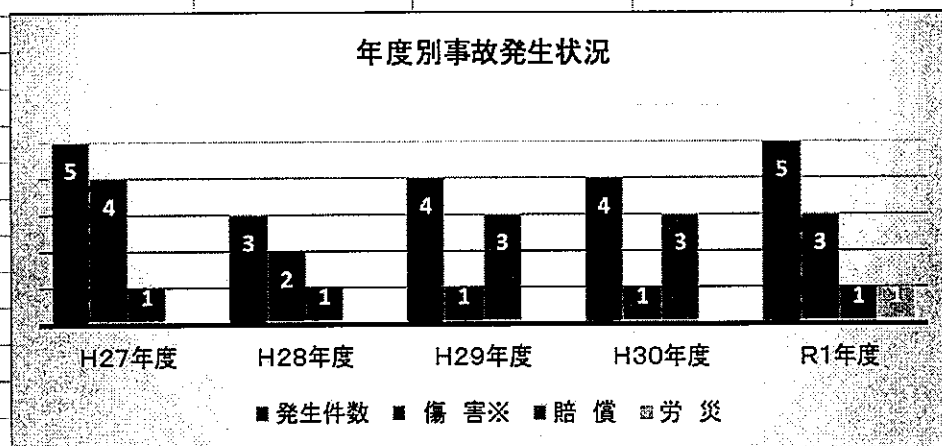
<労災事故の発生状況>

業種	事故発生日	状況	保険金給付額
派遣	R1.6.20	詰まったビニール袋を取り除く際に、スイッチは切ったものの完全に停止していない機械に手を入れ、右手の甲骨3本を骨折し、29日間入院した。	別途

<年度別事故件数の推移>

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
発生件数	5	3	4	4	5
傷害※	4	2	1	1	3
賠償	1	1	3	3	1
労災					1

※熱中症を含む。



(5) 適正就業の徹底

「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」は会員の働き方に係る重要な指針であり、公益法人として法令遵守の対場から、適正就業ガイドラインに沿った業務運営を行った。

## (6) 健全で安定した財政基盤の確立

持続可能な財政運営を行うため、法改正への対応や事務所経費等の見直しを行った。

### 【主な取り組み】

- 消費税率の引き上げに伴う配分金改定や鳥取県内の最低賃金改定に伴う派遣会員の賃金の改定
- 役職員の旅費規程の見直しを行い、センターの事務経費の節減
- 事業量を確保するため、官公庁や事業所を訪問し、シルバー事業の確保・拡大を要望

中期基本計画の達成状況は次の通りである。

＜基本目標値(努力目標)＞						
区 分	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	備 考
	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)	
正会員数	181 (177)	185 (185)	189 (169)	169 (173)	169	目標を達成
就 業 実人員数	172 (171)	176 (182)	180 (163)	163 (149)	163	
受注件数	2,311 (2,254)	2,321 (2,202)	2,212 (2,042)	2,042 (1,999)	2,042	
契約金額 (千円)	73,634 (69,134)	75,107 (70,176)	71,570 (62,475)	62,475 (61,749)	62,475	

※派遣就業は除く。

※下段（ ）は実績

※正会員数は、平成28年度定時総会（平成28年5月）時点の177人を現状値として算定、就業実人員数もこれにより按分

※4年目、5年目数値は、平成30年度に現状を踏まえて下方修正